

研究計画書

ゼミ名	森ゼミⅡ	チーム名	モリエもん
タイトル	ドラえもんの秘密道具を通して大学生のニーズを紐解く		
テーマ群	g)その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>近年新たなもの・サービスづくりの場において、その時代ごとの消費者のニーズを研究し、それに沿って開発するという流れが一般化してきており、それは私たちの身近な所でも顕著に表れている。例をあげると、無料の写真共有アプリケーションであるインスタグラム（通称インスタ）の急激な利用者数増大や、俗に「インスタ映え」と言われる、閲覧者を意識した投稿写真の撮影が現在流行傾向にある。この傾向を利用した、「インスタ映え」する商品や場所を提供する飲食店などが増加しており、これは必ず消費者のニーズに応えた商品・サービス開発になっていると言えるだろう。</p> <p>このように社会のものづくりやサービスの開発・提供は、それを利用する消費者のニーズと連携し行われている。しかしそう仮定したとき、本当に消費者の現状や興味と欲しいものが結びついているのかが不安要素であるという結論に至った。ここで私たちはテレビアニメ ドラえもんの秘密道具と呼ばれる架空のアイテムに着目し、SNS や旅行など大学生が興味を持ちそうな各分野に連携する秘密道具のニーズを調べ、その人が何に興味を持っているか調査することでこの不安要素が解消されるのではないかと考えた。</p> <p>アンケート方法は大学生を対象にし、各個人の趣味と欲しいものとの関連性を導くために、その人の趣味・恋人の有無・SNS の使用頻度を聞き、その後三択形式で 7 問、各問のベストとワーストを選択してもらおう。このベスト・ワースト法で得られた結果から、商品・サービスを開発するにあたりどのような情報が必要・不必要か、またその情報は信じきってよいものかを導き出せると考えている。</p>		